

自見はなこ先生との意見交換会の報告

公益社団法人大分県臨床工学技士会 副理事長 田邊裕司



日時：令和2年11月29日（日）9:40～10:10／場所：レンブラントホテル大分「フォーリーフガーデン」

自見はなこ先生（参議院議員）と意見交換会を行いました。技士会からは小川理事長・垣迫副理事長・高畑事務局長・田邊が出席しました。自見先生は2018年5月24日に立ち上げられた「臨床工学技士の資質向上を求める議員連盟」の事務局長を務めて頂いており、我々技士にとってはとても心強い味方です。先生は医師の資格をお持ちということで、医療にはとても詳しく技士の地位向上・業務拡大にもご尽力頂いております。

小川理事長より新型コロナ対策について、県内にECMOを操作できる人材が少ないことが課題であると伝えたところ、ECMOnetを活用し近隣の福岡県からチームを派遣してもらい勉強会を行ったらと助言を頂きました。（費用は国から補助金が可能かもしれません）大分県の副知事に連絡しておくと言っていました。また、大分県副知事黒田秀郎氏は厚生労働省老健局総務出身にて自見先生とは大変好意にされており、現在、黒田副知事は、厚生労働省にてコロナ対策の研修をされており、その際に県内の医療職の会議には臨床工学技士会も是非参加してもらうように伝えておきましたとの大変ありがたい報告も受けました。

次に、大分大学に臨床工学科が開設すると(国立大学としては初めて)の報告をした際、以前から要望していた事案であり、これを機に他県でも国立大学の臨床工学科が増えるのではと期待され、とても喜ばれていました。

臨床工学技士連盟の会員数増加がなかなか厳しい現状をお伝えして、今後も活動を強化していきますとお伝えしたところ、診療報酬等についても連盟の力が大事ですので、ぜひよろしく願いますとのことでした。

今回、自見先生には、とても忙しい中お時間をとって頂き、短時間でしたがとても気さくにお話して頂き、質問については、的確なおかつスピードのある回答を頂き、改めて政治力が必要であると感じました。

自見先生より、政治家を動かし、事案を進めるためには数であるとの言葉を聞き、改めて連盟の入会者を増やすことが必要であり、当技士会も連盟がどのような活動を行い、会員の皆様の要望をどのように届けるのかを説明していく義務があると改めて認識しました。また近い将来、自見先生に大分県での講演をお願いしたところ、快くお引き受けくださいました。公益社団法人大分県臨床工学技士会会員と自見先生の意見交換会の場を作りたいと理事長も言っていました。

我々の声を国会に届けるためにもぜひ、連盟に入会をお願いします。